（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | くれよん | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年　3月　3日 | ～ | 2025年　3月　17日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 11人 | （回答者数） | 6人 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年　3月　3日 | ～ | 2025年　3月　17日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 7人 | （回答者数） | 7人 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年　3月　20日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | コミュニケーション能力を高める指導に力を入れている。 | 様々な活動（制作、ダンス、音楽療法etc）の中で物と向き合う、人と向き合う、事と向き合うことを通じて、自分の頭で考え豊かな言葉で表現する力をつけ、自己抑制する力につなげる。 | 子ども同士の関わりの中で、意思疎通がうまくいかなかった場合、何が原因だったのか、どうしたらよかったのかを自分で物事を組み立てて考えるよう促す。 |
| 2 | 食育・・・事業所の畑で野菜の育つ過程を観察し、苦手な食べ物に向き合い少しずつでも食べれるように慣れていく。 | 旬の野菜のおいしさを味わい、苦手な野菜であっても一口ずつでも食べれるように促す。<br>（物と向き合う、事と向き合う、人と向き合う） | 野菜は、体づくりに必要な栄養がとれまた、人の力を借り自然の力を借りて育っている感謝の意識をもたせる。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 保護者同士の交流する機会をなかなか作れない。 | 一人ひとりの時間の都合を聞き取り調整するのが難しい。 | 時期や時間帯を聞き取り調整していく。 |
| 2 | きょうだい児と交流する機会をなかなか作れない。 | きょうだい児の交流を行う時間の確保が難しい。 | きょうだい児の交流ができる機会を検討していく。 |

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | くれよん |
|---|---|

公表日 2025年3月28日

利用児童数　11人　　回収数　6人

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 5 | 1 | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 5 | | | 1 | 子供の数も先生方の数も把握していないので。 | 職員の人数は基準配置よりも余分に配置している。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 6 | | | | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | 2 | 3 | | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 5 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 5 | 1 | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | 3 | 1 | | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 4 | 2 | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 2 | 1 | 2 | 1 | | |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 5 | 1 | | | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | | | | | |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 4 | | | 2 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 4 | 1 | | 1 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | 6 | | | | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 6 | | | | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 6 | | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 6 | | | | イベントやくれよんランチの時は特に楽しみにしています。<br>ありがとうございます。 | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 6 | | | | 帰宅時間が大幅に送れそうな時は、可能であればメールでもいいので連絡を頂けると安心です。支援には大満足です。 | 水族館に行った際、交通渋滞で運転中のため連絡ができず送迎をした。<br>これからは、遅くなることを事前に連絡するようにします。 |

（別紙５）

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | くれよん |
|---|---|

公表日　2025年　3月　28日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 基準通りのスペースをとっている。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 基準以上の職員を配置している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 入り口やトイレ等、事業所内すべてバリアフリー化をしている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日、清掃とアルコール消毒をしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 個室になれるコーナーを設置している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 毎日の送迎後、反省点や保護者様からの連絡事項を共有している。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | アンケートで頂いたご意見等は職員会議で話し合い、改善すべき点は改善に努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 毎日送迎後、ミーティングしている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | ○ | | 第三者による外部評価は行っていない。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 積極的に研修に参加できるよう努めている。 | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 事業所のHPに公表している。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | ○ | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 職員会議で案を出し合い、話し合いを行っている。 | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 新しい活動を取り入れたり、活動の曜日を入れ替えたりしている。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 個々の様子や特性を把握し、計画を作成している。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 送迎前に一日の流れや利用予定の子供たちについて情報確認・共有をしている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 職員全員で送迎後等に振り返りを行い、情報・共有している。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 体温チェック等、おやつ内容を記録し、連絡帳で活動内容写真を記録し見直しを行っている。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 定期的に支援内容を見直すよう努めている。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | ○ | | 手作りおやつ・ダンス・運動クラブ・音楽療法・制作・おでかけ等を実施し、選択機会を作っている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 活動内容によって気が向かない時は、自らどうしたいかを指導者に伝えるようにしている。 | なかなか伝えられな時は、言語表現できるように促していく。 |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 職員全体で話し合い、参画している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 愛西市発達部会への参加や、必要に応じ相談員、学校等担当者と情報を共有しながら支援を行っている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 送迎の際に先生方と直接お話、状況により、お電話等で情報共有や調整を行っている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 相談員の方を通じて、必要であれば情報共有をしている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 相談員を通じて相互の情報を共有している。担当者会議に参加する場合もある。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | ○ | | 児童発達部会に参加し情報を得ている。研修にも参加している。 | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | | |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ○ | | 参加できる機会があれば積極的に参加していきたい。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 送迎時や連絡帳お電話等で共有している。 | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 家庭と事業所で問題共有している場合、事業所での対応で問題に改善が見られた際、お電話や直接その時の様子を伝え家庭での対応の参考にしてもらっている。 | |
| 保護者への説明等 | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に書類を見ながらの分かりやすい説明を心がけている。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | モニタリング等で確認している。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | ○ | | モニタリング等で確認している。 | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | 状況によって面談やお電話等で支援を行って | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | | 今後保護者の方同士の関わりを支援できるような取り組みをしていきたい。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 迅速な対応・保護者の方への報告を心がけている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | おたよりやHPにて情報発信をしている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 情報管理を徹底し、細心の注意を払うよう努めている。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 絵・カードやジェスチャーなど、その子にあったツールを共有する。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 他事業所の行事に参加させてもらっている。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | マニュアルを作成し、HPに掲載している。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 月に一度、避難訓練を実施している。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 保護者からの連絡に基づいて、当事業所でできること（おやつ内容の変更等）を行っている。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | ○ | | 書面を配布し伝えている。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 報告書を作成し、職員会議等で共有している。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 事業所内での勉強会や研修機会を積極的に確保している。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | | ○ | | やむを得ず身体拘束を行わなければならないような該当する児童はいない。 |